

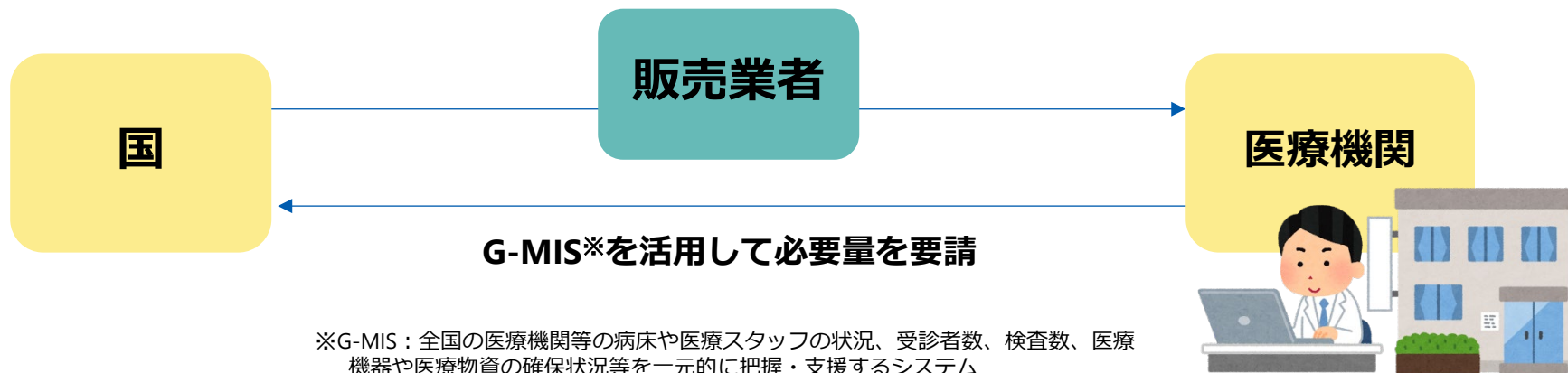
中東情勢を踏まえた医療用手袋の備蓄の放出について

厚生労働省 医政局医薬産業振興・医療情報企画課

中東情勢を踏まえた医療用手袋の備蓄の放出について

- 非滅菌手袋（ニトリル・PVC）を含めた個人防護具は、新型インフル特別措置法に基づき、パンデミックの発生に備え備蓄を行っている。
- このうち、国では備蓄水準を超える量（余剰分）を確保：約4億9千万枚
- 医療用手袋の需給状況は、現在、通常通りの発注には概ね対応できている（※）一方、一部では通常量を大幅に超える発注も見られ、結果として歯科診療所など一部の医療機関では確保が困難となっている。
（※）主要販売メーカーは通常と同程度の1～2か月の在庫を持っている。
- このため、確保が困難となっている医療機関向けに、まずは、5000万枚（※）を放出することとし、今後の供給状況を踏まえ、必要に応じ追加で放出していく。 配送可能な体制を5月中に整備すべく手続きを進める。
（※）全国の一般診療所及び歯科診療所の約1月分の需要は9000万枚程度と推計。

販売業者を通じ医療機関に手袋を放出



※G-MIS：全国の医療機関等の病床や医療スタッフの状況、受診者数、検査数、医療機器や医療物資の確保状況等を一元的に把握・支援するシステム

(参考) 国・都道府県・協定締結医療機関の備蓄量集計 (2025年12月1日時点)

※国備蓄のみ2026年4月1日時点

(単位：枚)

	医療用 (サージカ) マスク	N95マスク	アイソレーション ガウン	フェイスシールド	非滅菌手袋
国 備蓄水準	1億7,400万	1,350万	3,090万	1,980万	7億2,900万
都道府県 備蓄水準	1億3,800万	1,070万	2,550万	1,390万	4億9,300万
合計①	3億1,200万	2,420万	5,640万	3,370万	12億2,200万

国 (2026/4/1時点) 備蓄量	約3億3200万	約1900万	約4700万	約2020万	約8億9300万
都道府県 (2025/12/1時点) 備蓄量	約2080万	約380万	約460万	約310万	約8800万
協定締結医療機関 (2025/12/1時点) 備蓄量	約1億4300万	約2600万	約5100万	約2200万	約7億4200万
合計②	約4億9600万	約4900万	約1億270万	約4500万	約17億2300万

※国の備蓄必要量 (協定締結医療機関の備蓄量の一部を国備蓄として換算して算出) を踏まえると、現在の国の余剰量は約4億9900万枚となっている。